

松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 422号 2021年(令和3年)10月号

梅雨明け後の8月初旬から1週間以上にわたり、九州、中国地方を中心に大雨による大災害が今年も発生しました。一方で新型コロナ感染者数は全国規模で拡大して日々最多記録を更新中、いつ収束するか見通せない状況です。会員相互の交流の場である定例会も昨年12月に開催して以来、すでに8ヶ月も閉会のまま推移しています。この9月は当会の誕生月という由緒ある記念月で何とか開催したいところですが、9月12日まで33都道府県に緊急事態、蔓延防止の発令と自治会館が9月12日まで使用禁止の情勢下では残念ながら開催は無理でしょう。一刻も早く、もとの日常生活に戻って、皆さんとの顔合わせが出来ることを願わずにはられません。時節はこれからが秋本番、本来であれば旅行やお食事会など外出には最適のシーズンですが、かかる災難には巣ごもりが一番の防衛の由、皆さんには我慢はもう限界点を超えていられるとお察ししていますが、災害と心得て自粛を継続せざるを得ません。

9月度定例会(9月11日・土)および「お楽しみ会」は上記事情から前月に引き続き中止と致します。会員の皆様にはワクチン接種について、既に2回目を終えられていることと存じますが、若年層をはじめ全人口の約50%の方々がワクチン未接種の状況下、只今の新型コロナウイルスの強力な感染力が脅威ですので、今暫くは今迄通りの非日常生活を続けて、近い将来に元の生活に戻れることを期待しましょう。

会員の皆様へ

会長 竹田由美子

松風会が創設されたのは、昭和51(1976)年9月15日。人間でいえば46歳、壮年期です。創設された当初は会員が集まらなくてご苦労された時期や、いろいろなご苦労があったと聞いています。私が会長になってからは、創立記念日に皆様方と一緒に食事(食べ残した弁当を自宅に持って帰ったら他人様のもの、自分の弁当は戻ってこないという事もありました)、太鼓や鳴子の練習を重ねて老人クラブ大会や「ここはふるさと、松風台」に参加、大運動会で皆様が様々な競技されていた姿や楽しかったことを懐かしく思い出し会長冥利の歳月だったと感謝しています。

一日も早く、コロナ禍が収まり皆さんとコミュニケーションを図り、健康を維持できる活動やホッとできる場が開催できることを夢見て、お互いに我慢・我慢の自粛生活を乗り切っていくようにしましょう。

- ① 10月誕生の方々： 児島 健さん、釘宮美代子さん、岸間 正さん、田嶋さかえさん の方々です。
おめでとうございます。
- ② 茅老連関連：10月開催予定の大運動会は中止(代替事業検討中)、趣味の作品展は延期し令和4年2月開催予定、グラウンド・ゴルフ大会は延期となりました。秋の一泊旅行は中止、老人クラブ大会は式典のみ開催予定、一般会員は参加しませんので、ご注意ください。
- ③ 松風会誕生お祝い品：この先、定例会の開催時期が不透明なことから、本来であれば定例会で賑やかに食事会というところですが、恒例の「紅白饅頭」と「お赤飯」は各会員宅に配布を予定していますので、ご自宅でご賞味下さい。
- ④ 先の9月号に掲載された「大相撲クイズ」の回答は当News10月号に添付されていますので、ご覧下さい。出題者の那須さんによれば、正答者は1名(釘宮さん)でほぼ満点だったそうです。おめでとうございます。わずかばかりの賞品を差し上げました。
(次回11月号にもクイズを掲載しますのでご期待下さい。)

人生いろいろ

一 夢をみえていますか 一

暑い夏が続いていますが、皆さんお変わりありませんか。コロナに酷暑、生活もいつものリズムとは違いますね。さて、突然ですが、夢を見ていますか。そう言われても夢にもいろいろありますよね。昔、若い頃は人生・将来に対する希望、夢があり、目標・目的に向かって計画を立てコツコツ実行してきました。この夏のオリンピックも終わりましたが、各国のアスリート達は5年前、いやもっと幼少の頃から表彰台を夢見て努力してきて、今、大会が終り結果も出て、もう次のパリ大会に夢を描いている人も大勢いるでしょう。若い人はうらやましいですね。未来があります。私の最近の夢は、若い頃や現役サラリーマン時代のそれでは無くもっぱら寝ている間に見る夢です。それも、翌朝目覚めて記憶に残っているのは、楽しい夢は一つも無く、仕事で失敗しそうな夢とか、気の合わなかった上司の顔などです。どうしてこんな夢を見るのか。この年になって来ると本当に夢もチボー（希望）も無いですね。皆さんはどんな夢を見ますか、あるいは見ませんか？ 夢を見る心理状態は、脳の中はどうなっているのか、多にに興味があります。どうせなら、楽しく気の置けない友達と酒を飲んでいる夢とか、又は、旅行に行った夢とか、見たいものですが。（そうだ、晩酌の量が足りないかも知れない。今夜からもう少し増やそうか）

考えてみると、夢が記憶に残っているには、どうも睡眠が浅い時が多いような気がします。最近では暇でコロナもあり身体も動かさず、又、現役のような仕事の達成感も無いので、ぐっすり眠れていないかも知れません。今夜あたりは良い夢をみたいものです。そういえば、この会はゆめクラブと言うんでしたね。カラオケに「いつでも夢を」なんて歌もありましたね。私の十八番でした、今歌ったら声が出るかな。懐かしいな。皆さんもどうか楽しい真夏の夜の夢を！

（次回は西谷さんをお願いします）

つれづれ随想

田中久夫

ジョーク

私はジョークを好むが、こちらが冗談だと思っても、相手は、本気にとってしまうことがある。私の家内も冗談が大好きだが、時々失敗する。我妻は「私の家にはタヌキが3匹いる」とよくいう。まじめな人は「3匹も飼っているのですか」と答えてくる。この3匹とは亭主の私と亡くなった義父と庭のタヌキの置物である。皆、腹が大きくて小太りのところが似ている。わかっている人は冗談と受け取ってくれるのだが、こんなこともあった。通りすがりの男性が我が家の庭の花を見て「きれいな花ですね」と言ったので、我妻はすかさず「私は言われたことはありません」というと相手はあわてて「奥さんもきれいですよ」たぶん、相手も冗談が好きなのであろう。



世界遺産—日本シリーズ：

大阪府下 百舌鳥・古市古墳群

岡山県倉敷市内 備中美観地区の観光風景（真野さん提供）